

かみしるべ 第5号

～すべての人に居場所と出番のあるまちづくり～

- 助け合いの地域づくりを目指して… (表紙)
- 協議体について知ろう! (2ページ)
- 創年倶楽部活動報告 (3ページ)
- 脳トレコーナー (3ページ)
- 高齢者支援協議体活動報告 (裏表紙)



高齢者支援協議体 活動報告

町全域を対象とする高齢者支援協議体では、「くろねえ事業“わがごとまるごと支え合い講座”」及び第2層協議体構築に向けての話し合いの場へ参加し、社会福祉協議会と連携・協働し、地域の支え合いの仕組みづくり構築を目指し協議しています。

今年度は、明治小地区、本郷小地区、本郷北小地区にお伺いしました。

また、1月からの高齢者支援協議体では、新たに民生委員さん代表と上三川町ボランティア連絡協議会代表の方をメンバーにお迎えしました。

今後、地域の支え合いの仕組みづくりを進めていく中で、地域の「支え手さん（担い手さん）」自身がいきいきと活動ができるよう、「ボランティアポイント制度」の仕組みづくりについて現在協議を進めているところです。

決定事項などについては、随時、かみしるべ紙面や、各地区の第2層協議体構築に向けての話し合いの場でお知らせしていきます。

編集後記 光輝く「好^{こうれいしゃ}齢者」

年齢は否応なく誰にでも平等に訪れます。毎日、年齢を数えながら日々生活をしている方はいないと思います。気がつけば「もうこんな年齢に・・・」気持ちの中ではまだあの頃のまま・・・そんな方が多いのではないのでしょうか？

「高齢者」ではなく、歳を重ねることに安心や楽しさを感じ、歳を重ねることが好きになる。そんな「好^{こうれい}齢者」が増え、「好齢化社会」を次世代につなげていくためにも、一人一人が何かできることから始めてみませんか？

これから、少しずつ春が近づき暖かくなる季節がやってきます。ちょっと自分の居場所に興味を持って、散歩で身体を動かしながら、すれ違う人に一声挨拶を交わす・・・そんな事から始めてみませんか？

在宅介護支援センター友愛苑 生活支援コーディネーター 石塚 大

脳トレコーナー 答え

Q1 : タンポポ・ウメ・フクジュソウ・ツクシ

Q2 : パンジー・ヒヤシンス・スイセン・サクラ・チューリップ



何個できたかな？



★写真は、桃畑ミニサロン、本北小地区わがごとまるごと支え合い講座、介護予防教室「男の料理（明治コミセン）」の様子です。



助け合いの地域づくりを目指して・・・



「かみしるべ」とは？

年齢を重ねても誰もが安心して自分らしく生活でき、自立した生活を続けられるように地域ぐるみで支える仕組み（＝地域包括ケアシステム）の基盤づくりとして、多くの方に情報をお届けするために、かみしるべを発行しています。タイトルは「上三川町」と「道しるべ・道案内」の意味を込めました。

【発行】チームかみしるべ（上三川町高齢者支援協議体）

【事務局】上三川町 保険課 高齢者支援係

電話 0285(56)9102

FAX 0285(56)6868

メール hoken01@town.kaminokawa.tochigi.jp

◎本誌についてご希望の方は、必要部数を事務局までご連絡ください。

また、本誌町ホームページからもダウンロードできます。



協議体について知ろう！

支え合いについて
の話し合いの場

第1層協議体

高齢者支援協議体

町全体の支え合いの仕組みづくりを考え、支え合いが地域に広がっていくようなサポートをします。

<メンバー>
生活支援コーディネーター（在宅介護支援センター）
シニアサポーター・民生委員・ボランティア連絡協議会代表
町社会福祉協議会職員・地域包括支援センター職員
役場各担当課職員 など

現在、町や社会福祉協議会では、
助け合いの地域づくりを目指し、
下記の取り組みをしています。

<第1層協議体の具体的な活動内容>
・通所型サービスB「創年倶楽部」創出
・新規居場所づくりのサポート
・リーダー、担い手の養成講座の企画
・ボランティアポイントの仕組みづくり
（検討中）
・地域包括ケアシステムの普及、啓発のため「かみしるべ」の発行

町全域を対象とします。

～第1層から第2層へ～
地域ごと助け合いの仕組み
づくりの働きかけをします。

～第2層から第1層へ～
施策化が必要な地域課題などの
情報を共有します。

生活支援コーディネーター（在宅介護支援センター職員等）
がパイプ役となり、第1層と第2層をつなぎます。

第2層協議体

小学校区ごとの支え合い話し合い チーム

・社会福祉協議会が中心となり、住民と一緒に
体制づくりを進めます。
・地域の課題（実際の事例を含む）についての
話し合いを行います。
・地域の困っている人と地域の担い手をつなぎます。
（マッチング）
・地域のニーズに応じて、居場所づくりを進めます。

地域で解決できない課題は、
地域包括支援センターがお手伝い
します。

地域ケア会議

地域包括支援センター主催の個別
事例の話し合いです。
専門職や関係者の他、ご本人、ご家
族、地域住民の方が参加します。

連携

現在、明治小地区・本郷小地区・
本郷北小地区にて、構築中です。
7つの小学校区での立ち上げを目
指します。

わがごとまるごと支え合い講座(くろねえ事業)

・小学校区ごとの支え合いをスタートさせるための基礎講座。
・第2層協議体メンバーの募集も兼ねています。



協議体とは・・・
地域包括ケアシステム構築を目指し、市町村が主体となって設置する、多様な主体が参画する話し合いの場、連携強化の場、情報共有の場のことをいいます。

創年倶楽部活動報告



鈴木美枝子さん(75) 鈴木喜代司さん(82)

上町創年倶楽部にご夫婦で参加されている鈴木さん
をご紹介します。

鈴木さんご夫妻は、上町創年倶楽部スタート当初から
参加され、毎回休むことなく皆勤賞で参加されています。

毎週、木曜日の午前中はお二人で徒歩で上町公民館
に通われ、仲間とラジオ体操やストレッチなどの運動に
取り組まれたり、歌を歌ったりしています。

「毎週参加するのが楽しみ」「ここに来れば皆と会えるし、
コミュニケーションが楽しい」「外出するいい機会になっ
ている」と話され、創年倶楽部に参加することで、「以前より
元気になった」と実感しているそうです。

また、このような居場所があることは大変ありがたく、一
人でも多くの人に参加して欲しい、とお話されていました。
鈴木さん、いつまでもご夫婦仲良く元気にお過ごし
ください！



東蓼沼西創年倶楽部の様子



上町創年倶楽部の様子

「創年倶楽部」とは・・・

住民主体による居場所のひとつで、毎週1回（1時間～1時間半程度）、地域の公民館で住民による運営で開催しています。

介護保険の総合事業サービス（介護予防・生活支援サービス）に位置づけられ、事業対象者の方、要支援1・2認定を受けている方も参加していただけます。

現在町内に2カ所の設置ですが、町では今後、地域の支え合い仕組みづくりの推進や効果的な介護予防の場として、創年倶楽部を広めていきます。

「参加してみたい」「うちの地域でも始めてみたい」など、下記までお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先：電話】
保険課高齢者支援係（56）9102
地域包括支援センター（56）5513

立ち上げや運営のノウハウは、町や社会福祉協議会、地域包括支援センター、運営ボランティアさんがバックアップしますのでご安心ください。

ここで、ちょっとひと休み・・・脳トレコーナー

＊春の花、植物がバラバラに並んでいます＊

Q 1 : 4種類の花と植物の名前を見つけてください。

メポクウソタジュシンツウポフク

答えは裏表紙を
見てね!



Q 2 : 5種類の花の名前を見つけてください。

クラージスリッシスヒブセンチュサパンインヤー